



グローバル・スタンダードの 人権保障システムを目指して

入管収容問題を具体例に国内人権機関・個人通報制度を考える



日本は人権先進国？後進国？入管の長期収容問題から見えてくる実態！

2019

8月24日^土

開場……………12:30
開演……………13:00
終了予定……………16:30

参加費
入場無料 予約不要

会場
福岡県弁護士会館2F大ホール
福岡市中央区六本松4-2-5

地下鉄：七隈線六本松駅下車、1番出口から徒歩約3分
西鉄バス：「六本松」下車、徒歩約3分

入国管理局施設での長期収容の問題、医療体制の問題、収容環境の悪化の問題等が全国的な問題となっています。問題解決のためには、視察委員会同様に国家機関から独立した国内人権機関、個人通報制度への期待があります。講演とパネルディスカッションを通じて、その希望について考えます。

講師及びそのプロフィール

- ・小川 政治 弁護士 (広島弁護士会・日弁連国内人権機関実現委員会事務局長)
- ・大川 秀史 弁護士 (東京弁護士会・日弁連自由権規約個人通報制度等実現委員会委員)
- ・安藤 由香里 招へい准教授 (大阪大学大学院国際公共政策研究科)
- ・柚之原 寛史 牧師 (長崎インターナショナル教会)
- ・中出 雅治 医師 (大阪赤十字病院国際医療救援部長)



主催
福岡県弁護士会
FUKUOKA BAR ASSOCIATION

共催
日本弁護士連合会、九州弁護士会連合会

問合せ
福岡県弁護士会 tel.092-741-6416